

(様式 1 - 3)

福島県(南相馬市)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年10月時点

本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	44	事業名	小高中学校防災機能強化事業	事業番号	(1) - 15 - 7
交付団体	南相馬市	事業実施主体(直接/間接)	南相馬市		
総交付対象事業費	(0) 26,948(千円)	全体事業費	(0) 26,948(千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、約5年もの間、区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、平成29年4月には小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整しているところである。しかし、長期にわたる小高区学校施設の維持管理が停止したことにより、プールについても、施設そのものの劣化、機能の劣化及び低下が著しく見受けられ、災害時における避難場所としての機能を果たせない状況にある。</p> <p>これらの施設及び機能の劣化等を回復することにより、緊急時の避難場所における雑用水の水源として、防災機能を含めた安心安全な教育環境を整え、小高区内の再生加速化を図る。</p>					
事業概要					
小高中学校防災機能強化事業 児童生徒等のプール利用時の安全確保とともに屋外防災施設としての活用も図るため、劣化した既存施設を改修し、学校の防災機能を強化する プール槽塗装、プールサイド改修、付属棟改修 費用：26,948千円  【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】 P124 基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策 安全・安心な教育環境の確保 施策の展開 小高区の自校再開に向けての施設の点検、清掃及び施設改修					
当面の事業概要					
<平成28年度> ・プール槽塗装 A = 1,121㎡ ・プールサイド改修 A = 717㎡ ・付属棟(更衣室、トイレ等)改修 A = 77.5㎡(平屋建て)					
地域の帰還環境整備との関係					
プールは、中学校教育に欠かせない重要施設であり、今回の改修工事についても、小高区内の学校を再開させるために必要な事業の一つである。施設及び機能が著しく劣化・低下した施設を改修することで、緊急時の避難場所としての防災機能を含め、学校を再開するための環境が整うことから、保護者が安心して子供を学校に通わすことができ、子供たちも安全な学校生活を送ることができる。このような地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境整備の重要な要素である。					
関連する事業の概要					
小高中学校施設環境改善事業(屋外教育環境整備) 小高中学校グラウンド改修工事 施工面積・・・10,544㎡ 工事内容・・・表層土処理工、掘削運搬工、暗渠設置工、グラウンド土敷設工					

効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	